

「子どもの健やかな成長を支援するための利用」に関する具体的な活動内容

項目	具体的な活動内容
①遊び・スポーツによる子どもの育成	<p>■子どもが遊びやスポーツによって心身の健康を増進し、知的・社会的能力を高め、情緒をゆたかにするよう援助する。</p> <p>■子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助する。</p>
②子どもの居場所の提供	<p>■子どもが安全に安心して過ごせる居場所になることが求められることから、自己効力感や自己肯定感が醸成できるような環境づくりに努めるとともに、子どもの自発的な活動を尊重し、必要に応じて援助する。</p> <p>■中・高校生世代も利用できるよう、話し相手や仲間を求め、自分の居場所として未来館を利用するなどの思春期の発達特性をよく理解し、自主性を尊重し、社会性を育むよう援助する。</p>
③子どもの意見を述べる場の提供	<p>子どもの話し合いの場を計画的に設け、中・高校生世代が中心となり子ども同士の役割分担を支援するなど、自分たちで活動を創り上げることができるよう援助する。</p>
④配慮を必要とする子どもへの対応	<p>障害のある子どもへの対応として、障害の有無にかかわらず子ども同士がお互いに協力できるような活動や環境を整備する。</p>
⑤子育て支援の実施	<p>■保護者の子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもとその保護者が、自由に交流できる場を提供し、交流を促進する。</li> <li>子どもの発達上の課題について、気軽に相談できるような子育て支援活動を実施し、保護者が広く地域の人々とかかわりを持てるよう支援する。</li> </ul> <p>■乳幼児支援</p> <p>保護者と協力して乳幼児を対象とした活動を実施し、参加者同士で交流できる場を設け、子育ての交流を促進する。</p> <p>■乳幼児と中・高校生世代等とのふれあい体験の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子育てにおける乳幼児と保護者の体験を広げ、子どもへの愛情を再認識する機会となるとともに、中・高生世代等の子どもを乳幼児の成長した姿と重ね合わせる機会となるような取組を行う。</li> <li>中・高生世代を始め、小学校も成長段階に応じて子どもを産み育てることの意義を理解し、子どもや家庭の大切さを理解することが期待できるため、乳幼児との触れ合う機会を広げるための取組を行う。</li> </ul> <p>■地域の子育て支援</p> <p>地域住民やNPO、関係機関と連携を図り、協力して活動するなど子育てに関するネットワークを築き、子育てしやすい環境づくりを行う。</p>
⑥地域の健全育成の環境づくり	<p>未来館を利用する子どもが地域住民と直接交流できる機会を設けるなど、地域全体で健全育成を進める環境づくりを行う。</p>
⑦ボランティア等の育成と活動支援	<p>■未来館を利用する子どもが、ボランティアリーダーとして仲間と積極的に関わる中で組織的に活動し、未来館や地域社会で自発的に活動できるように支援する。</p> <p>■未来館を利用する子どもがボランティアとして適宜、活動できるように育成・援助し、成人になっても未来館とのつながりが継続できるようにする。</p> <p>■地域住民が、ボランティア等として未来館の活動に参加できる機会を提供し、地域社会でも自発的に活動ができるように支援する。</p>